

進路だより 浜佐浜

Vol.3

令和5年12月18日発行
福島県立原町高等学校進路指導部

大学入学共通テストまであと26日！

1月13日（土）、14日（日）の大学入学共通テストまであと26日。いよいよ！という気持ちよりも、「どうしよう・・・」と焦りを感じている受験生のみなさんも多いかもしれません。不安や焦りだけにとらわれず、「今、ここ」で何をすべきなのか考え、1歩1歩着実に前に進む26日にしましょう！

忘れてほしくないのは、「自分は一人ではない」ということ。あなたの周りには一緒に受験勉強をしてきた仲間がいます。友達がいます。応援している家族が、学校の先生がいます。周囲の人からの応援エネルギーを追い風を感じてほしいと思います。

「研究とは何か」というテーマでFIC人材育成事業地域理解講演会を開催



東北大学工学部
窪田 亜矢 先生



福島大学農学群食農学類
平 修 先生



東京農業大学国際食糧情報学部
半杭 真一 先生

12月14日（木）に1年生を対象にFIC事業の地域理解講演会が開かれました。3つの大学から先生方をお招きして各自が興味のある講演会を聞きました。大学で行う研究とはどのようなものなのか、先生方それぞれの研究についてもうかがいながら学びを深めた1年生です。講演会の内容から何を学び取れたのか、どのような刺激を受けたのかなど裏面の感想を読みましょう。

進路指導主事のひとごと

来月13日・14日に大学入学共通テストが行われます。確定志願者数は49万1913人。前年と比べて2万688人減少し、6年連続の減少です。高校の卒業予定者数が昨年よりも約4万2千人減少したことに加え、浪人生の占める割合も約14%と過去最低になっています。この3年間の共通テスト受験率は90%～93%で推移しています。また、24年度入試では、国公立大学の定員が440人増加しています。これらのことから地方の国公立大学が入りやすくなっているのは明らかです（もちろん対策は必要ですが）。福島大学経済経営学類を例にすると、ここ3年間の合格最低点の得点率（共テ+2次試験）は、62.7%→59.1%→51.9%と推移しています。これらをどう見るか……。

2学期に行われた進路行事 あなたは何を学びましたか？

ゲノム編集技術講義



森山先生の話聞く様子

9月15日（金）に福島国際教育機構（F-REI）の森山力先生から「ゲノム編集技術等農林水産業・食品分野への応用」というテーマで受講を希望した30名の皆さんが講義を受けました。品種改良、最新のゲノム編集技術についてなど普段聞くことのできない貴重な講義でした。質問もたくさん出て活発な講義となりました。生徒のみなさんの感想は裏面です。

先輩と語る会



8月29日（火）には、現在大学2年生の先輩14名、大学4年生の先輩1名、大学院生の先輩1名を迎えて「先輩と語る会」が開催されました。1・2年生全員が自ら希望した2名の先輩から受験についてや大学について、高校時代の過ごし方について話を聞きました。生徒のみなさんの感想は裏面です。

上記の他、10月10日（火）には「知っていますか？臨床工学技士（CE）講座」が開かれ、講座受講者の中には続く21日（日）に南相馬市福祉まつりで臨床工学技士ブースのボランティアに参加した人もいました。自分の進路希望に沿った講座を積極的に受講する生徒が多く見られた2学期でした。学んだことを進路活動や学校生活に活かしてほしいと思います。

総合型選抜・学校推薦型選抜結果（指定校を除く） 12月14日現在

総合型選抜、学校推薦型選抜の結果がぞくぞくと届いています。国公立大学では厳しい結果となっています。1、2年生は推薦だから必ず合格するわけではないということを知り、一般選抜で合格できるだけの力をつけつつ、合格するための選択肢として総合型選抜・学校推薦型選抜に臨む場合は、早めに担任の先生に相談してみましょう。

国公立大学 出願22 合格 7 未決定7

私立大学 出願62 合格56 未決定3

総合型選抜合格率66.7% 公募推薦合格率92.1%

※合格が内定した大学等の名称は、年末までに事務室協の掲示板に掲示予定です！

地域理解講演会の感想より

福島大学食農学類 平修先生の講座

・農学部と聞くと農業のようなものをしているイメージだったけど化学など食と繋げる大切な面白いことをしていると知ることができてうれしかった。今、自分たちが感覚としてわかっていることを視覚的に証明して農家のみなさんと協力しながら福島県産のものをより発信していくことができたらうれしいなと思う。あんぼ柿がとても好きで健康に良いと聞きもっと食べようと思った。身体で何が起きているのか普段見えないところを知ることに興味があるので、農学に少し興味が出た。大学は自分のやりたいことをやれる場所だと聞いている。勉強して将来を楽しみたい。(Aさん)

・大学の教授は講義で何を教えてもよいし、どんなテストを作ってもよいという話がかかなり衝撃的でした。高校までは先生方が私たちを支え導いてくれますが、大学では難解な授業があったり、字の読みやすさなどで容赦なくたたき落としてくることもあると聞き、少し怖くなりました。今後はもう少しきれいな字を書こうと思います。私は漠然となんか将来有利そうだし国公立行きたいなくらいに考えていたのですが、大学で研究している人などの話を聞いて、ぼんやりした理由だと受験で落とされるだろうし入学後もものすごく困るだろうと理解しました。残りの高校生活でしっかり勉強してやりたいことを見つけたいと思います。(Bさん)

東北大学工学系研究科 窪田亜矢先生の講座

・人としてどうあるべきかを南相馬と東日本大震災の関わりの話を通して考えることができた時間でした。「根」という言葉がたくさん出てきたが「根」を持つことで自分のすべきこと自分と他人との関係性の大切さを知ることができました。また、知らないところで知らない人が必死になって「私たち」と「場所」のことを思い、苦勞して頑張っていることを知り、今自分ができることは何かを考えることができました。(Aさん)

・研究と言えば新たな発見をしたりする「結果」が重要であると思っていたが、そこから新たな問いへと発展していくことがさらに重要であることに納得させられた。また、物事が起きたということはその前後に変化が必ずあるものであり、その変化を追求していくことで歴史的・空間的・内面的な変容が明確に見えてくると聞き面白く感じた。今回の講座を通して震災を深く見るような新たな視点を得ることができた。

東京農業大学国際食糧情報学部 半杭真一先生の講座

・お話を聞く前は、東京農業大学は農家になりたい人など農業に関心がある人だけが行く場所だと思っていたので、決してそのような場所ではないと知って驚いた。「マーケティング」という言葉は知っていてもしっかりとした説明はできない状態だったので「マーケティング」は顧客や市場の創造であ

るというお話にとても納得した。また、商品のネーミングには様々な要素が関わっていると知り、興味深いと思った。福島県農産物へのアンケート結果からも初めて知ることが多くあった。(Aさん)

・東農大のマーケティングの調べているものとして、いつ、だれと、どこで、どのように、といったものがあったり、いろいろ多角的な観点から見られていてすごかった。ネーミングの発音や特徴では、自分と同じ答えで本当に効果のあるものなんだなと思った。また、商品名で客に対するイメージや特徴のおかげで売り上げなどがあがるというものが共感できて面白かった。福島の放射線の検査では、自分の思っていたものよりも他地域の人には知らないということが分かった。知ってもらうにはこちらの情報発信がもっと必要だと思う。(Bさん)

ゲノム編集技術講義の感想より

・人類が利便性を求めて技術の開発が成されていくプロセスをわかりやすく説明していただいたのでそれらを身近に感じることができた。また専門の人ならではの苦惱も知ることができ、どの職種もそれぞれ大変なことがあるのだとわかった。生物の授業で遺伝子のところを習ったばかりなのでその内容と結びついて面白かった。(Aさん)

・講義を聞く前は、ゲノム編集という言葉聞いたことがなく、言葉だけではどのようなものか想像できなかったけれど、講義を聞いてゲノム編集は品種改良の1つで他の品種改良より狙ったところに変異を導入することができることや、効率的に形質を変えることができることを初めて知ることができました。また世界でゲノム編集技術が食品に使われている例を知ることができました。(Bさん)

卒業生と語る会の感想より

・2人とも勉強量が自分とは大違いで焦りが出てきました。まず勉強する習慣をつけないといけないなと思いました。少し勉強法を工夫してモチベーションを保ちつつ、今のうちから積み重ねることが大切だとわかりました。とにかく今の自分は甘えすぎだなと実感しました。勉強のモチベーションが話を聞いて爆上がりしたので頑張りたいと思います。(Aさん)

・「どれだけ疲れていても勉強しない日は作らない」という先輩の言葉にすごく感銘を受けた。私は気分でもいつも勉強しているので、先輩を見習って毎日コツコツと勉強しようと思う。大学についての話もたくさん聞くことができてよかった。(Bさん)